二十歳の門出

1月12日(日)一生に一度の門出を祝い、公民館大ホールにて、盛大に式典が挙行されました。

参加者は友人との再会を喜びながら、お世話になった人への感謝を胸に、新たな1歩を踏み出しました。

106人が出席

華やかな振袖やスーツ、羽織袴を身にまとい、二十歳を迎えた106人が式典に参加しました。

式の司会は高橋顕吾さん、山本彩実さん、国歌斉唱時の指揮を市瀬沙耶さん、ピアノ伴奏を西下未来さんが務めました。

二十歳代表「はたちのことば」では、鈴木琉空さん、宇井窓花さんがそれぞれの決意と、お世話になった方々への感謝の気持ちを述べました。

「記念品ならびに二十歳の自分におくるメッセージ」の贈呈では、二十歳を代表して角尻泰輔さんが記念品を受領し、青柳光祐さんが小学校卒業記念に書いた二十歳の自分に向けたメッセージを発表しました。8年の時を経て開封されたメッセージは当時の思い出もよみがえり、大いに盛り上がりました。

また、東庄中学校時代の恩師たちは当時の思い出を振り返りながら、二十歳の門出を迎えた教え子たちを前に、感慨深い様子でした。東庄中学校3学年時は、令和元年東日本台風や翌年のコロナウイルスの蔓延の影響を受け、学校行事や高校受験など、苦労の多かった思い出もたくさん。恩師たちは思い出に触れ、「大変なことが多く、最後の一年にたくさん苦労をかけてしまったが、当時から我慢強く、団結力がしっかりあった。人とのつながりを大切に、これからの人生も楽しんでほしい。」と述べました。

式の最後には、東今泉鳴和会の下座が披露され、東庄ならではのアトラクションに参加者は魅了された様子でした。

当日は雨が降り続いていたため、式典後の記念撮影などに、役場町民ホールが開放されました。

＼式典受付／

＼東庄中学校時代恩師／

ご参加いただいた先生方に、当時1番思い出に残っているエピソードをうかがいました

伊藤　好江　先生

どんな行事も全力だったこと。(特に合唱コンクール)

二十歳おめでとうございます。今日があるから、明日が来ます。今日を大切に生きてください。

木野　翔太　先生

・二人羽織レク
・修学旅行
　クマ引き返し事件

出会えた奇跡は
どんな宝石よりたからもの
人とのつながりを大切に

栗芝　光代　先生

・悪天候で延期になった文化祭合唱コンクールでの入賞
・ほとんど練習なく3年生だけで行った卒業式。思い出に残る式でした。
・例年通りできた行事がなく、最後は公立後期入試前に登校できなくなりました。

さまざまな変化に対応してきた皆さんの力を糧に
素敵な未来を作り上げてください。応援しています。

齋藤　賢一　先生

・二人羽織レク
・修学旅行の“クマ”事件

二十歳の門出おめでとうございます。支えてくれる人々への感謝の気持ちを忘れず、これからの人生を全力で楽しんでください。